



前回に引き続き今回も、ホテルiestaff OBで現在は保険関係のお仕事をされている株式会社ルトーの平良 和久さんから皆さんが支払っている「年金」についての学びたいと思います。

知って得する公的年金の基礎知識 Part2

前回のホエリエ通信では「公的年金の基礎知識」という事で、国民年金と厚生年金保険の違いをお伝えしました。厚生年金保険は、保険料を会社と折半で支払い、年金を受け取る際には個人で全て受け取るので、国民年金に比べて少ない保険料で多くの年金を受け取る優れた仕組みであるという事でしたね。

(詳しい内容はホエリエ通信 No.28 をご参照ください。)

私達にとって老後はまだ30年以上も先の事ですが、年金に対して漠然とした不安をお持ちの方も多そうですね。少し固い内容になりますが、今回は公的年金の今後の行方とその対策についてお話します。これを機会に、自分の将来に向けての資産運用についてぜひ一度考えてみてください。

<公的年金の行方>

今後、私達が老後に受け取る予定の公的年金はどのようになるのでしょうか？

それは決して明るい未来ではありません。

現在の年金は65歳から支給されていますが、約30年後の私達が年金を受け取る時には現在と同様に65歳から受け取る事ができるのでしょうか？

この問いに関して、多くの専門家は68歳若しくは70歳時から受け取る可能性を示唆しています。

またそれと同時に受け取る年金額も減少するのではないかという見方も当然あります。

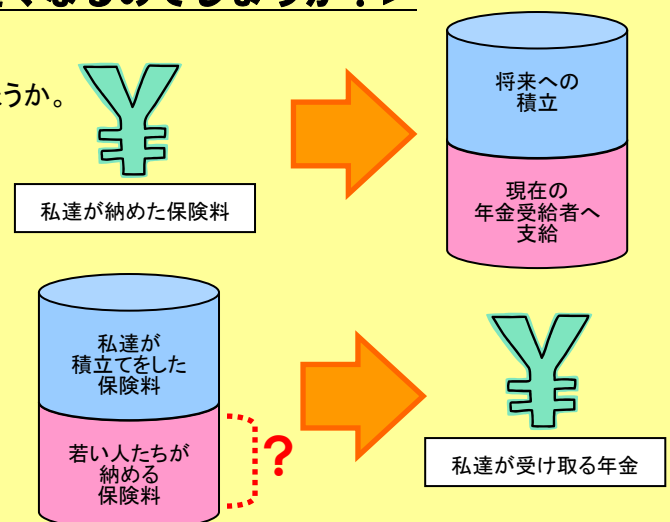
<なぜ年金受給額が減少し、支給時期も遅くなるのでしょうか？>

年金問題の最大の原因は「少子高齢化」です。

では少子高齢化が年金制度にどのような影響があるのでしょうか。

日本の年金制度は、私達の納めた保険料の半分は「将来受け取る為の積立」、半分は「現在の年金受給者への年金の支払い」に充てられています。

言い換えれば私達が将来受け取る年金は「私達が今まで積み立てた保険料」と「若い人達(20歳~65歳)が納めた保険料」で成り立ちます。



下記の日本人口推移表をご覧ください。

	2012年	2030年	2040年	2050年
総人口	1億2700万人	1億1700万人	1億800万人	9800万人
0歳~65歳	9600万人	8000万人	6900万人	5900万人
65歳以上	3100万人	3700万人	3900万人	3900万人

この日本人口推移表を見ると、将来私達が老後を迎える 2050 年頃には総人口は 1 億人を割り、経済を動かす若い世代(0 歳～65 歳)の人口も減少しています。しかし、65 歳以上の人口は増加傾向にありますね。
つまり、私達が年金を受け取る頃には、年金を納めてくれる人口が少なく、その総額も減少するので、必然的に**私達が受け取る年金も減少する**のです。
では、私達は年金受給額が減少するだろう将来の老後生活の為に、いまからどのように対策をすべきでしょうか。

<今後の対策>

それは**自助努力＝資産運用**しかありません。

厚生年金は絶対継続。これは大前提です。こんな利回りがよく安定している資産運用はこの世にありません。

厚生年金の他に預貯金、投資信託などで**私達の世代は自分で資金を確保しないといけない**のです。

では、これから私達が今でも始められる資産運用の具体例を紹介します。

資産運用例

運用種類	金利※1	金利種類	元本保証※2	30年間毎月1万円を資産運用した場合
タンス預金	0%	固定	有	¥3,600,000
預貯金	0.1%	固定	有	¥3,642,073
国債	1.0%	固定	無	¥4,050,537
個人年金保険	1.5%	固定	無	¥4,302,613
投資信託	3.0%	変動	無	¥5,185,180
変額保険※3	3.0%	変動	無	¥5,185,180

※1 金利は目安ですので上記と異なる場合があります。変動する金利に関してはリスクが比較的小さいものを採用

※2 商品により元本保証は異なります

※3 投資信託と死亡保険の両方兼ねた商品です

上記のように利息の違いで、運用結果の大きな差ある事がわかります。

1990 年頃迄は銀行に預けるだけでお金が増える時代でした。

当時の郵便局普通預金の金利は何と**4%**。でも現在は**0.1%**程度・・・。

投資教育が進んでいる欧米と比べて、私達は元本保証がない運用、金利が変動する運用を嫌がりますが、多少リスクのある資産運用を一部組み込まないと高い金利を得る事は一切できません。

実行するかどうか全ては皆さん次第です。

でも何か行動を起こさないと解決はしません。

将来に向けて皆さんに知っておいてほしい知識として紹介いたしました。

是非とも今後の参考にしてみてください。



株式会社ルトー 平良 和久

〒662-0911 西宮市池田町 10-3-4F

TEL:0120-390-223 FAX:0798-39-0812

URL: <http://www.ruto.co.jp/>

ホテリエゴルフコンペ

第7回ホテリエゴルフコンペを開催いたします。優勝目指して、楽しくゴルフをしましょう。

- 日時: 2012年5月17日(木) AM 9:00集合(時間厳守)
- 場所: サンロイヤルゴルフクラブ 兵庫県加東市上久米 1763-90
- 参加費: ¥9,300(セルフ・昼食付)

※詳細は変更する場合がございます。参加希望の方は、**担当 巳波**までご連絡ください。



健康診断



健康管理、福利厚生の一貫と致しまして、健康診断を受診してください。
今年まだ受診していないかたは、4月以降のご都合の良い日に各自で病院にて受診してください。(かとうクリニック希望の場合はホテリエ事務所へご予約ください。)受診料金は各自で負担して頂き、後日診断書と領収書提出にて返金(上限あり)いたします。基本的な一般健康診断で受診下さい。料金は4000円～8000円ぐらいで受診できます。
健康診断を受診される方は、ホテリエスタッフ村井まで事前にご連絡お願いします。

TEL 0798-22-2057

E-mail: hotelier_office@hotelier.co.jp